

株式会社 三越 2008年9月上報告

1. 店別状況

店名	売上高※1 (千円)	参考前年比※2 (%)
全店合計	49,680,098	97.4
日本橋	17,938,739	96.9
新宿アルコット	1,553,495	98.6
銀座	3,660,703	100.0
池袋	1,585,050	101.7
千葉	1,750,006	99.0
仙台	2,516,873	97.8
札幌	2,879,607	100.2
名古屋栄(ラシック含)	6,852,804	97.9
星ヶ丘	1,456,750	99.8
新潟	1,422,859	93.2
広島	1,199,512	99.4
高松	1,747,186	97.9
松山	1,397,106	93.4
福岡	3,073,957	92.6
鹿児島	645,446	92.7

※1 テナント売上高を含みます。

※2 2008年5月より、前年の売上実績を100として比較しています。

2. 商品分類別売上高

		売上高※1 (千円)	参考前年比※2 (%)
合計		49,680,098	97.4
衣料品	紳士服・洋品	2,425,486	93.6
	婦人服・洋品	11,444,024	92.5
	子供服・洋品	519,784	94.3
	その他衣料品	1,496,603	94.0
衣料品小計	15,885,897	92.9	
身の回り品	6,910,219	89.7	
家庭用品	家具	765,042	91.7
	電器	160,954	26.4
	その他家庭用品	1,704,443	99.2
家庭用品小計	2,630,439	83.2	
食料品	10,577,065	100.8	
食堂・喫茶	947,904	91.9	
雑貨	8,934,152	96.6	
サービス	134,854	65.4	
その他	831,749	92.2	
テナント売上	2,827,819	240.9	

3. 商況概況

<9月商況>

- 9月に入って前半は暑さが残る中、婦人衣料では軽衣料を中心とした秋物がよく動いた。食品も引き続き好調だったものの、後半は全般的に伸び悩んだ。土日各日1日減の影響のほか、事業部門も伸び悩み、全店合計の売上前年比は97.4%となった。各店で8月下旬から開催の「大創業祭」では、前半はお買得商品を中心に後半は限定品を中心に秋のスタイルを展開し好評を得た。3店舗(銀座・池袋・札幌)が前年を上回った。
- 日本橋本店は、婦人衣料を中心に秋物が堅調に推移した。キャリアでは軽い羽織り物や薄手のジャケットなど今から長く着られる秋物がよく動いたほかフレタでは重衣料の動きが本格化した。食品ではリモテルオープンした生鮮食品や人気催事の「北海道物産展」も牽引し、引き続き好調に推移。「田川啓二夢の世界展」や「日本伝統工芸展」など催事が好調で来客増・売上増に貢献したが終盤は全体的に伸び悩み、売上前年比は96.9%となった。
- 銀座店は、リモテルオープンした婦人靴やハンドバッグが好調に推移した。3日から15日まで展開していた「ジミー大西展」も来客増に貢献した。改装工事に伴う売場閉鎖の影響があったものの売上前年比は100.0%となり好調に推移している。
- 札幌店は、「プリンスダイヤナ展」など催事が好調のほか、「大創業祭」の各企画が奏功し売上前年比は100.2%となった。
- <その他>
- 10月7日(火)より首都圏の各店にて、「おせち料理ご予約承りの会」を開始。「上質・本物」を切り口に、老舗名店の復刻おせちなど三越限定品を中心に、こだわりのおせち料理をご用意。
- 10月14日(火)よりインターネットのお歳暮ページを開設。10月28日(火)より各店にて順次、お歳暮ギフトセンターをオープン。食の安全性への関心の高まりなどの背景から、「限定・こだわり・安心・安全」をキーワードに、素材や製造方法に深くこだわった独自企画品や携帯電話での食品原材料検索などお客様の視点に立った商品やサービスをご提供。

※日本橋本店では11月5日(火)よりギフトセンターをオープン。

2008年3月より、報告する売上高にテナント売上を加えて、同じ基準で比較して前年比としています。
三越各店でテナントも含めた店舗の全てのフロアでお客様がご購入される金額をお店の販売額と捉えるためであると同時に、統計の継続性を保つためです。

本件に関するお問合せ先は
 (株)三越伊勢丹ホールディングス 管理本部総務部コーポレートコミュニケーショングループ
 TEL03-5843-6041 FAX03-5843-6040
 (株)三越 総務室 広報担当
 TEL03-3274-8007 FAX03-3241-5298